

## 動物の痕跡があるけどわかるかな？

動物の痕跡みーっけ！  
どこでしょう！



ここ！！



ばれたかー。

どうも～ムササビうんちです！  
小さくて丸っこいのが特徴です！  
他の動物のうんちとは結構違うから、  
ムササビのだってすぐバレちゃいます！  
一つ見つけたら、周りも探してみると、パラパラと落ちて  
いるよ。柔らかかったり、香りがすると、新鮮かも。  
この上にムササビがいたんだなーって想像してみてー。



## 山の宝石

岩陰でピカピカと宝石のように光るものがあります。これが「ヒカリゴケ」です。ヒカリゴケは原始的なコケ植物で、その名前の通り洞窟のような暗所で綺麗に光るのが特徴です。暗がりのなかでエメラルド色に美しく光るヒカリゴケは見る人を感動させます。そんな美しく、見る人を感動させてくれるヒカリゴケですが、実はデリケートな植物です。僅かな環境の変化でも死んでしまいます。自然の光景が変わってしまうのはとても悲しいですね。今ある美しい自然環境が守られるように、東京都レンジャーはこれからも尽力します。



## 近自然工法はじめました

大雨や霜、日々訪れる利用者など、様々な要因で登山道は傷んでいきます。そうした中、道の修繕だけではなく、道の荒廃とともに失われた植生を回復させることに着眼した「近自然工法」があります。雨水と人の導線を読み、浸食を防ぎ、流れた土が堆積することを計算して施工してきます。主な材料は岩と倒木。現地の岩や木の根、地形的な条件を活かし、材料をハンマーやチェーンソーで加工しながら施工します。まだ事例は少ないですが、東京都レンジャーによる作業で活用をはじめました。皆さんが歩かれる登山道にも、将来このような施工がされるかもしれません。



検討しながら施工します



近自然工法で施工作業中



チェーンソーで加工作業中



近自然工法で施工した階段

## 東京都レンジャーは今日も巡視中

「東京都レンジャーは一ヶ月にどれくらい山を歩いているのですか？」とよく質問されます。季節によるばらつきなどあるものの、月に12～14日くらいでしょうか。

その積み重ねで2017年1月から12月までの1年間で秩父多摩甲斐国立公園内や明治の森高尾国定公園内などを約4,700km巡視しました。一人は平均650km<sup>\*1</sup>でした。

巡視は漠然と歩いているわけではありません。周囲を見渡し、何か変化はないか注意を払いながら歩きます。気になる場所やポイントとなる場所では立ち止まり、施設があれば目視で点検をします。記録すべきことは、詳細に記録をとります。ほかにも、気になったことがあれば、記録をしておきます。

現場で得られた記録は、巡視が終わってから整理をしておきます。もし早めに報告や周知しないといけないことがあれば、すぐに報告をします。すぐに使わない記録も、後日必要となった時にすぐに取り出せるようにしておきます。

巡視で華々しい成果を上げることはそうそうありません。毎日の少しずつの記録の積み重ねが成果になると信じています。

\*1: 基本的に2名以上の組になって巡視を行うので、「1名の平均巡視距離×16名＝全巡視距離」になりません。

## 東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
  2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
  3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
  4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

## 自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551